



NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

N8800-122/130/132/140

Express5800/320Fd-LR

N8800-123/127/131/133/137/141/142

Express5800/320Fd-MR

ユーザーズガイド

2010年 3月 第6版
856-127506-001-F

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイドおよび警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)







注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	注意 指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧でアース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容は次のとおりです。

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		爆発または破裂のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触れないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。		火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全にかかわる具体的な注意事項については1章で説明しています。必ずお読みください。

商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2008はWindows Server® 2008 Standard operating systemおよびWindows Server® 2008 Enterprise operating systemの略称です。

Windows Server 2003 x64 EditionsはWindows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003, Standard x64 Edition operating systemおよびWindows Server® 2003, Enterprise x64 Edition operating systemの略称です。Windows Server 2003はWindows Server® 2003 R2 32-bit Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 R2 32-bit Enterprise Edition operating systemまたは、Windows Server® 2003 Standard Edition operating systemおよびWindows Server® 2003 Enterprise Edition operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows VistaはMicrosoft® Windows Vista™ Business operating systemの略称です。Windows XP x64 Editionは、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemの略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略称です。Windows PEはMicrosoft® Windows® Preinstallation Environmentの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

商標/特許について

DianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。AVOCENTおよびDVC(DAMBRACKAS VIDEO COMPRESSION)は米国AVOCENTの米国およびその他の国における登録商標または商標です。MozillaはMozilla Foundationの商標です。

Netscapeは、Netscape Communications Corporationの米国および諸外国における商標または登録商標です。Javaの名称はSun Microsystems, Incの米国および諸外国における商標または登録商標です。

N8815-005/006 511モートマネージメントカードは、米国AvocentのDAMBRACKAS VIDEO COMPRESSION技術を採用しています。

米国特許番号 5,732,212/5,937,176/6,633,905/6,681,250/6,701,380 その他申請中。

台湾特許番号 173784

ヨーロッパ特許番号 0 740 811

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、弊社のExpress5800/ftサーバをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

Express5800/ftサーバシリーズは、Express5800シリーズの「高性能」、「拡張性」、「汎用性」といった特長に加え、耐故障性に優れた「高い信頼性」を考慮し、開発された「Fault Tolerantサーバ」です。万一の障害の発生においても二重化により、障害箇所を瞬時に切り離すことで業務に影響を与えることなく継続して動作し、片方のモジュールからもう一方のモジュールへの業務引き継ぎがスムーズに行われ、業務に与えるダメージを最小限に食い止めることが可能なシステムである本装置は、高い可用性を要求される基幹業務においても安心してお使いいただけます。また、Windowsオペレーティングシステムの採用により、汎用アプリケーションを適用することができるなど、オープン性にも優れています。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

本書は、本装置を正しく使用するための手引きです。日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は別冊のユーザズガイド(セットアップ編)といっしょに常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windows Server 2003やWindows NTなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザを対象として記載されています。

本書の構成について

本書は8つの章と付録から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。

本装置のセットアップに関する説明については別冊のユーザズガイド(セットアップ編)を参照してください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1章 使用上のご注意

本装置を安全に正しく取り扱うために必要な注意事項が記載されています。本装置を取り扱う前に必ずお読みください。また、ユーザサポートについても記載しています。保守やさまざまなサービス、サポートを希望する際にお読みください。

第2章 知っておきたいこと

本装置の各部の名称やその機能、一般的な操作やデバイス、部品の取り扱いについて説明しています。

第3章 Windowsの設定と操作

Windows上での本装置固有のセットアップや操作について説明します。

第4章 システムのコンフィグレーション

本装置内部に格納されている基本入出力システムの設定方法について説明しています。また、出荷時のパラメータ値についても記載しています。

第5章 ユーティリティのインストールと操作

本装置に標準で添付されている「EXPRESSBUILDER」が提供する機能や操作方法、ならびに「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されている各種ソフトウェアのインストール手順や操作方法について説明しています。

第6章 保 守

本装置の保守方法や保守ツールの使い方について説明しています。また、保守の際に装置を移動する必要がある場合は、この章で説明している手順に従って装置を移動してください。

第7章 故障かな？と思ったときは

本装置が正しく動作せず、「故障かな？」と思ったときは、本体の故障を疑う前に参照してください。

第8章 システムのアップグレード

本装置用のオプションの増設方法についての注意事項と増設手順について説明しています。故障した部品を交換する際にも参照してください。

付録A 仕 様

本装置の仕様を記載しています。

付録B I/Oポートアドレス




本装置内部のI/Oポートアドレスの割り当てを一覧で示しています。

付録C 保守サービス網一覧

NECフィールディング株式会社のサービス拠点の住所と電話番号の一覧です。保守を受ける際に参照し、お近くの保守拠点へご連絡ください。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店、またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイド、および添付のDVDに収められているオンラインドキュメントの一部は、次のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.nec.co.jp/>

付属品の確認

本製品の梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、お買い求めの販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、本体が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」DVDの構成品については、パッケージの中にある構成品表を参照してください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、ディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはDVDは、使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

目次

安全にかかわる表示について(1章の「使用上のご注意」と併せてお読みください)

はじめに	i
本書について	ii
本書の構成について	ii
本文中の記号について	iii
本書の再購入について	iii
付属品の確認	iv

1 ⚠ 使用上のご注意～必ずお読みください～

警告ラベルについて	1-2
安全上のご注意	1-3
全般的な注意事項	1-3
電源・電源コードに関する注意事項	1-4
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	1-5
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	1-6
運用中の注意事項	1-7
ラックマウントモデルに関する注意事項	1-8
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～	1-10
第三者への譲渡について	1-12
消耗品・装置の廃棄について	1-13
装置の輸送について	1-14
ユーザサポート	1-15
保証について	1-15
修理に出される前に	1-16
修理に出される時は	1-16
補修用部品について	1-17
保守サービスについて	1-17
ソフトウェアサポートサービス	1-18
標準サービス内容	1-19
Express5800/ftサーバのPP・サポートサービス製品	1-19
手配からサービス開始まで	1-20
情報サービスについて	1-22

2 知っておきたいこと

Express5800/ftサーバについて	2-2
オペレーティングシステムからみたCPUの見え方	2-6
各部の名称と機能	2-7
装置外観	2-7
装置前面	2-8
装置背面	2-10
光ディスクドライブ	2-12
CPU/IOモジュール	2-13
マザーボード	2-14
ftリモートマネジメントカード	2-15
ランプ	2-16
POWERランプ	2-16
CPU/IOモジュールステータスランプ1、2	2-16
PCIスロットステータスランプ1、2	2-17
ハードディスクドライブのランプ	2-17
光ディスクドライブのアクセスランプ	2-18
LANコネクタのランプ	2-18
EXPRESSSCOPE	2-18
基本的な操作	2-20
フロントベゼルの取り付け/取り外し	2-20
電源のON	2-21
電源のOFF	2-22
POSTのチェック	2-22
POSTの流れ	2-23
エラー発生時の動作	2-24
POSTのエラーメッセージ	2-24
CPU/IOモジュールの状態について	2-25
フロッピーディスクドライブ(オプション)	2-26
フロッピーディスクのセット/取り出し	2-26
フロッピーディスクの取り扱い	2-27
光ディスクドライブ	2-28
光ディスクのセット/取り出し	2-28
取り出せなくなったときの方法	2-29
光ディスクの取り扱い	2-30

3 Windowsの操作と設定

ディスクの操作	3-2
RDR(Rapid Disk Resync)機能によるディスク操作	3-2
RDR(Rapid Disk Resync)	3-2
RDR機能によるディスクの二重化設定と解除	3-4
故障ディスクの交換	3-16
故障ディスクの特定方法	3-16
故障ディスクの交換手順	3-16
ドライブ文字の変更	3-19
ネットワークの二重化機能	3-20
機能概要	3-20
Express5800/ftサーバにおける二重化のルール	3-21

二重化の設定	3-22
二重化の解除	3-32
モジュールの二重化動作確認方法	3-35
PCIモジュールの起動停止評価	3-35
CPUモジュールの起動停止評価	3-38
ftサーバサービスプログラム構成	3-40

4 システムのコンフィグレーション

システムBIOS ～SETUP～	4-2
起 動	4-3
キーと画面の説明	4-4
設定例	4-5
パラメータと説明	4-7
Main	4-7
Advanced	4-9
Security	4-14
Server	4-16
Boot	4-21
Exit	4-22
SAS BIOS ～Adaptec SAS/SATA Configuration Utility～	4-25
起動と終了	4-25
パラメータと説明	4-27
SerialSelect Utility	4-27
Disk Utilities	4-32
強制シャットダウンとクリア	4-34
強制シャットダウン	4-34
CMOS・パスワードのクリア	4-35
CMOSのクリアについて	4-36
パスワードのクリアについて	4-37
BMCコンフィグレーションのクリアについて	4-38
リモートマネージメント機能	4-39
ネットワーク デフォルト設定値	4-39
本装置側の設定	4-40
本装置側の初期設定	4-40
マウスのプロパティの変更	4-40
管理PC側の設定	4-41
ブラウザの設定	4-41
動作対応ブラウザ	4-41
Java2 Runtime Environment	4-41
リモートマネージメントの使い方	4-43
概 要	4-43
接続方法	4-43
DHCPプロトコルに対応したネットワークに接続する場合	4-43
DHCPプロトコルに対応していないネットワークに接続する場合	4-43
ログイン・ログアウト	4-46
メインウィンドウ	4-47
コントロールパネル	4-48
リモートKVMコンソール	4-49
IPMI情報	4-53
BMCに対する各種設定	4-56

ファームウェアアップデート	4-69
トラブルシューティング	4-73
エラーメッセージ	4-73

5 ユーティリティのインストールと操作

EXPRESSBUILDER	5-2
各メニューの起動について	5-2
オートランで起動するメニュー	5-4
ExpressPicnic	5-5
パラメータファイルの作成	5-5
ESMPRO/ServerAgent, ServerManager	5-11
概 要	5-11
サーバ障害の検出	5-12
サーバ障害の予防	5-13
サーバ稼動状況の管理	5-13
Express5800/ftサーバの監視	5-15
分散したサーバの一括管理	5-16
ESMPRO/ServerAgent	5-18
アラート通報内のデバイスIDについて	5-18
補足説明	5-20
ESMPRO/ServerManager	5-36
データビューアを使った監視	5-36
ハードディスクドライブの監視	5-45
Express5800/ftサーバの保守作業	5-52
コンポーネントの起動と停止	5-54
MTBF情報の参照とクリア	5-58
診 断	5-61
ファームウェア更新	5-64
ダンプ採取	5-69
システム動作設定	5-72
アラート(AgentからManagerへの通報)ベースでのServerManagerの表示更新 ..	5-74
BMCファームウェア更新	5-75
DianaScope	5-77
注意事項	5-77
エクスプレス通報サービス	5-78
セットアップに必要な契約	5-78
バックアップソフト	5-79
ARCserveをお使いの場合	5-79
対象テープ装置	5-79
ARCserveのインストール・運用時の注意事項	5-79
ARCserveの運用手順	5-84
ARCserveの保守手順	5-85
Backup Execをお使いの場合	5-87
対象テープ装置	5-87
Backup Execのインストール時の注意事項	5-87
Backup Execの運用手順	5-90
Express5800/ftサーバを再起動する場合の注意事項	5-93
Backup Execでの保守手順	5-93
NTbackupをお使いの場合 (Windows 2003モデルのみ)	5-95
対象テープ装置	5-95

運用手順	5-95
保守手順	5-96
Active Upgrade	5-99
はじめに	5-99
注意事項	5-99
概要	5-100
機能	5-100
Active Upgradeの手順	5-101
Active Upgrade処理の中止	5-105
Active Upgradeの状態モデル	5-106
Active Upgrade処理の準備	5-108
ソフトウェアアップグレードのサポート	5-108
前提条件	5-109
推奨事項	5-111
アップグレード処理中の重要なアプリケーションの管理	5-112
アップグレード前のタスク	5-113
リモート デスクトップ接続の設定	5-114
リモートKVMコンソールを使用するための設定	5-114
Upgrade側システムに割り当てるIPアドレスの準備	5-114
Active Upgradeソフトウェアのインストール	5-115
Active Upgrade処理用にWindows Firewallを設定	5-116
情報の収集	5-117
システムへのソフトウェア インストール パッケージのコピー	5-119
Active Upgradeコンソールの起動と終了	5-120
Active Upgradeコンソールのインターフェイスについて	5-121
タイトル バー	5-121
ナビゲーション バー	5-122
メイン ウィンドウ	5-124
ステータスバー	5-125
Active Upgrade処理の設定	5-126
設定ファイルの作成と管理	5-126
設定ファイルの作成	5-127
設定ファイルのロード	5-128
既存設定ファイルの編集	5-129
設定ファイルを使用しないアップグレードの実行	5-129
設定ファイルの保存	5-130
アップグレード側システムのIPアドレスの設定	5-130
アップグレード対象ディスクの選択	5-131
適用するそのほかの設定の選択	5-132
制御対象アプリケーションサービスの選択	5-134
バックアップ対象のイベント ビューアログファイルの選択	5-136
カスタムアクションの設定	5-137
カスタムアクションのプログラミングノート	5-140
設定ファイルの説明の入力	5-143
アップグレードの実行	5-145
準備確認の実行	5-145
システムの分割	5-147
実働側でのアプリケーション管理	5-156
システムマージ前のアップグレード側の検証	5-157
システムのマージ	5-158
アップグレードのコミット前のアップグレード側の検証	5-160
アップグレードのコミット	5-161
アップグレードの中止	5-162
アップグレードの完了	5-163
Active Upgrade処理状態の確認	5-164
ステータスバー	5-166
トラブルシューティング	5-169

アクティビティログのファイルへの保存	5-169
アプリケーションサービスのステータスの確認	5-170
インストール済みソフトウェアのステータス確認	5-171
RDRディスクの再同期確認	5-172
一般的な問題と解決法	5-173

6 保守

日常の保守	6-2
アラートの確認	6-2
ステータスランプの確認	6-2
バックアップ	6-3
クリーニング	6-3
本体のクリーニング	6-3
キーボード／マウスのクリーニング	6-4
フロッピーディスクドライブのクリーニング	6-5
光ディスクのクリーニング	6-5
テープドライブのクリーニング	6-6
システム診断	6-7
システム診断の内容	6-7
システム診断の起動と終了	6-7
保守ツール	6-10
保守ツールの起動方法	6-10
保守ツールの機能	6-11
移動と保管	6-13

7 故障かな？と思ったときは

障害箇所の切り分け	7-2
エラーメッセージ	7-3
ランプによるエラーメッセージ	7-3
POST中のエラーメッセージ	7-4
Windows Server 2003のエラーメッセージ	7-8
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ	7-9
トラブルシューティング	7-10
Express5800/ftサーバについて	7-10
イベントログについて	7-24
EXPRESSBUILDERについて	7-28
オートランメニューについて	7-29
ExpressPicnicについて	7-30
ESMPROについて	7-31
障害情報の採取	7-40
イベントログの採取	7-40
構成情報の採取	7-41
ワトソン博士の診断情報の採取	7-41
メモリダンプの採取	7-42
採取のための準備	7-42
メモリダンプの採取	7-42

8 システムのアップグレード

目次

安全上の注意	8-2
静電気対策について	8-3
装置を増設する前の確認作業	8-4
増設・交換の基本	8-5
3.5インチハードディスクドライブ	8-6
取り付け	8-7
取り外し	8-9
交換	8-10
交換手順	8-10
CPU/IOモジュール	8-11
注意事項	8-11
取り外し	8-12
取り付け	8-15
DIMM	8-17
注意事項	8-18
取り付け	8-18
取り外し	8-21
交換	8-23
プロセッサ(CPU)	8-24
取り付け	8-25
取り外し	8-28
PCIボード	8-29
取り付け	8-31
取り外し	8-35
交換	8-35
オプションPCIボードのセットアップ	8-36
N8804-002 1000BASE-T 1chボードセット/ N8804-003 1000BASE-SX 1chボードセット/ N8804-005 1000BASE-T 2chボードセット	8-36
N8803-032 SCSIボード	8-38
N8803-035 Fibre Channelボードセット	8-40
N8815-005/006 仮想リモートマネージメントカード	8-43
付録A 仕様	付録-1
付録B I/Oポートアドレス	付録-3
付録C 保守サービス会社網一覧	付録-5
索引	索引-1

オンラインドキュメントについて

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

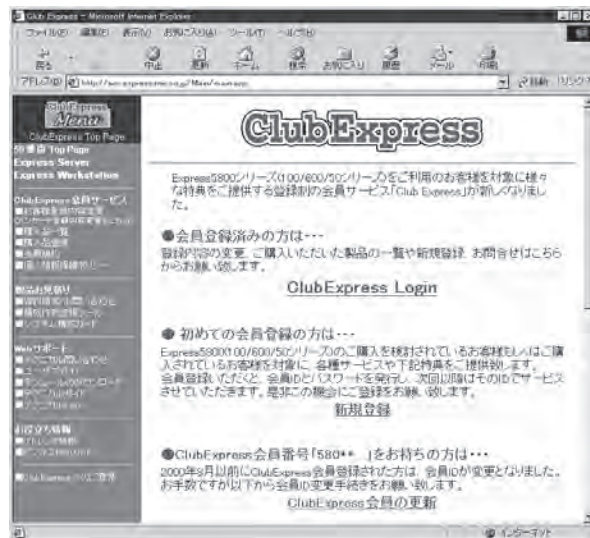
- ESMPRO/ServerManagerインストレーションガイド
- エクスプレス通報サービスインストレーションガイド
- 19インチラックユーザズガイド

ユーザ登録をしましょう！

NECでは、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送いただくか、またはClub Expressのインターネットホームページ

<http://club.express.nec.co.jp/>

にてご登録ください。



「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。是非ご覧ください。